

# 令和3年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

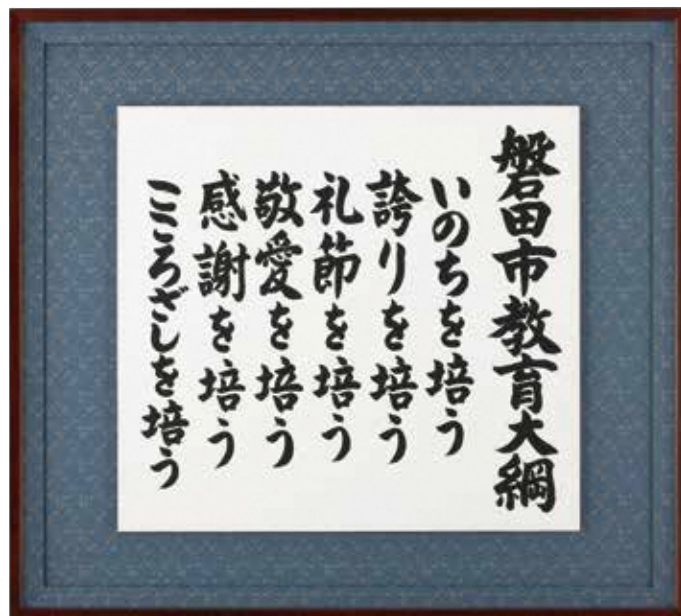
「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべと、子どもたちの成長を育む“磐田市こども憲章”により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



- 「磐田の教育」道しるべ
- 一、かけがえのない命を精一杯生きること
  - 一、自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること
  - 一、美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること
  - 一、勤労・勤勉を喜びとすること
  - 一、真善美に照らし正しい判断をすること
  - 一、大志を抱き困難を乗り越えること
  - 一、敬愛の心を持ち家族を大切にすること
  - 一、感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること
  - 一、年長者を敬い年少者を慈しむこと
  - 一、寛大な心をもって人を愛し許すこと
  - 一、郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと
  - 一、宇宙・自然への畏敬の念をもつこと

平成二十六年三月策定



「たくましく しなやかに」

令和3年度は、新たな挑戦の年です。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大によって、大きな影響を受けました。それを教職員、保護者、地域の皆様の方で乗り越えることができたと思います。この経験を活かし、コロナなど様々な困難にしなやかに対応し、新しい磐田市の歴史を創っていくことが大切です。



GIGAスクール構想は、大きな柱の一つです。1人1台の端末が活用されるようになり、学びの個別最適化という可能性を拓けるものとなります。これは、大きな挑戦であり、子どもたちの可能性を伸ばすために、勇猛な一歩が求められています。

ながふじ学府小中一体校が開校しました。この6年間、現場の教職員の努力はもちろんのこと、地域の皆様方にも多大なる御支援をいただき、心から感謝いたします。この6年間を振り返ってみると、新たな学校づくりは、新たなまちづくり、地域づくりであることを実感しました。さらに、協働の心を大切に、果敢に進めていきたいものです。

新しい生活様式は、私たちの生活に大きな影響を与えました。人と人とのふれあいの希薄化を克服すべく、マスクに隠れた表情、心情、感情をしっかりと受けとめ、深い子ども理解をもとに、対話活動を工夫し、コミュニケーションスキルを身に付けさせたいものです。

子どもたち一人一人の「いのち」の物語を大切に、たくましく、しなやかに…。

教育長 村松啓至

# 令和3年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

## 方針1 子どもの「生きる力」を育みます。

変化する社会において、困難なことも乗り越えていく『しなやかさ』をもった「生きる力」を育みます。

### 施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

小中一貫教育、コミュニティ・スクール、1人1台のLTE端末を最大限活用したICT教育、学府バスの運行、食育及び安全・安心な学校給食、食物アレルギー対応、主体性を大切にした環境を通して行う保育

### 施策2 「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の充実

スクールソーシャルワーカー、通級指導教室、不登校等対応、要保護児童等対策協議会(こども未来課所管)、関係機関(医療機関等)との連携

## 方針2 子どもの成長を支える「地域力」をさらに活用します。

多様性を大切に、温かなコミュニティの中で「地域力」を活用し、郷土愛と自己肯定感を高めめます。

### 施策1 地域の学習資源を活かした教育活動の推進

ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュピロ学校訪問、歴史教室、未来授業

### 施策2 子どもを健やかに育む地域づくり

青少年健全育成、人権教育、放課後児童クラブ、放課後子供教室

### 施策3 家庭、地域、園・学校における読書活動の推進

茶の間ひととき読書運動、学校・園・その他関連施設との連携によるおはなし会

## 方針3 市民が活用しやすい「学びの場や環境」を整備します。

良質な言葉に巡り合うことで、豊かな人生を送れるよう、「学びの場や環境」の整備を推進します。

### 施策1 学校施設などの安全・充実

学府一体校の推進、公立園の再編・再築(一部公立園の民営化移行準備)、小中学校特別教室等へのエアコン整備

### 施策2 就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園運営費補助

### 施策3 図書館サービスの向上

図書館資料・イベント・講座の充実、電子書籍サービスの推進、ボランティア等の育成

### 施策4 歴史遺産の整備・活用

文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

### 施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、「学びの師」や「学びの友」による情報提供、磐田スポーツ部活の運営、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地受け入れや機運醸成活動、青少年を対象とした文化芸術の育成



## 教育委員からのメッセージ

「もみじたち風といっしょにたびをする」。

「かみなりがくもをひきさきおこってる」。

これは小学校低学年児童の俳句です。子どもは皆詩人と言われますが、成長するにつれ豊かな感性を失っていくように思われます。素直な気持ちで自然を見つめ夢を膨らませる、それを維持させるには言葉を豊富に蓄積することです。

心豊かな人生のためにたくさん読書をし、美しい日本語を身に付けてほしいと願っています。



教育委員  
青島 美子

子どもたちには、しなやかでたくましく生き抜く力を身に付けてほしいと思います。

「どんなに一生懸命努力しても、うまくいかないことがある」。義務教育で数多くの小さな成功体験や小さな失敗体験は、成功したときの喜びを学ぶことであり、失敗したときの心の切り替え方や、立ち上がり方を学ぶことになります。

家族はもちろん、地域の大人や教師から愛されて育ったという感覚は、人生において困難にぶつかったとき、それに立ち向かう力となり、穏やかな顔で優しい言葉をかけられる大人に育つことでしょう。



教育委員  
鈴木 好美

磐田市教育委員会の目標は、「ふるさとを愛し…」であります。目指すところ、まず「確固たる個の確立」にあるとすると、子どもたち一人一人の心の中に“自らのふるさと：根っこ”をしっかりと築くことが大切だと考えています。

「ふるさと」は、人として父母祖先からの命の連続(縦軸)／人間としての自然や社会的連携(横軸)の交差する中心に位置する、今在る自分(アイデンティティ)、すなわち「自らの生存の基盤」を、自覚させてくれるからです。



教育委員  
杉本 憲司

ソサエティ5.0(超スマート社会)に向かい、AI家電やロボット等が普及し大きく動いている中、予期せぬ自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症により、日頃の暮らしは一変しています。

備えることも大切ですが、状況に応じて最適な解を見つけ素早く行動する力が必要な時代です。

視野を広げコミュニケーションを取り、考え判断し行動していくことが、子どもたちだけではなく我々大人たちにも求められていると感じます。



教育委員  
秋元 富敏

# 磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (令和3年4月現在)

## 1. これまでに進めてきた主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

- ①小中学校への「ふるさと先生」の配置 ～市費負担教員による35人学級の実現～(H17～H29)
- ②学校(福田中・豊浜小・竜洋東小)校舎屋上への津波避難階段の設置(H24)
- ③校務支援システム(H24指導要録・通信票・出席簿等、H30超過在校時間の管理)を導入
- ④小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に、H28～全学府で実施)
- ⑤小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑥全小中学校の校舎耐震化が完了(H26)
- ⑦全小中学校をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に指定(H27)  
《R2は、4人の学府ディレクターと27人のコーディネーターにより地域と共にある学校を推進》
- ⑧磐田北小学校プール施設の改築(H29)
- ⑨磐田北幼稚園園舎の改築(H29)
- ⑩磐田市アレルギー対応の手引きの作成(H29)
- ⑪大型モニター・書画カメラを小中学校全学級へ導入(H29～R2)
- ⑫LD(学習障害)等通級指導教室の拡充(H30～)
- ⑬磐田なかよしこども園の開設(H30新築工事、R1保育開始・園庭整備)
- ⑭小中学校の施設整備(H30～R1体育館照明LED化、R1トイレ暖房便座化・普通教室エアコン設置)
- ⑮ラグビーW杯に合わせた国際理解の促進(R1)
- ⑯放課後児童クラブの施設拡充《H27:37クラブ1,045人、R2:50クラブ1,560人》
- ⑰「ふるさと礎プラン」 ～校長経験者4人による若手教員へのサポート体制の構築～
- ⑱岩田こども園の民営化(R3)
- ⑲ながふじ学府小中一体校開校(R3)



しっぺいと楽しむ子どもたち

### ※将来を担う子どもたちのために市全体で取り組む事業

- ①ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦
- ②広島平和記念式典への小中学生派遣
- ③海外への中学生派遣
- ④家庭教育と青少年支援の充実



ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦

### (2) 図書館と文化財

- ①電子図書館による貸出サービスの開始(H29)
- ②中央図書館及び福田図書館へのWi-Fiの設置(H30)
- ③英語多読・健康医療情報コーナーの設置(H30)
- ④国立国会図書館視覚障害者用データサービスの利用開始(R1)
- ⑤ブックスタート事業・茶の間ひととき読書活動  
《乳幼児期からの読書推進》
- ⑥デジタルデータベース閲覧サービス提供(国会図書館、法律情報、新聞記事)、県立図書館配本サービス
- ⑦文化財・民俗資料等保存活用啓発事業  
《訪問歴史教室や施設見学・講座の開催》
- ⑧指定文化財保存事業《修繕費助成、調査及び指定、民俗文化財の映像化》



磐田市青少年健全育成スローガン



訪問歴史教室

## 2. 現在進めている主な事業

### (1) 教育施策と学校教育

- ①食物アレルギー対応の拡大(H24～段階的に実施)
- ②小中学校の防災機能(外壁改修・照明器具等落下防止)強化(H26～)
- ③給食材料への地産地消の拡大(H29～)
- ④学府バスの運行拡充《小中一貫教育のさらなる推進のため7台を運行》(H29～)
- ⑤向陽学府小中一体校の推進(R2～)
- ⑥1人1台のLTE端末による個別最適化された学習の充実(R3～)
- ⑦小中学校のパソコン室・図書室へのエアコン設置
- ⑧スクールソーシャルワーカーの配置
- ⑨市費負担教員の配置《小中一貫教育の推進と生徒指導の充実》
- ⑩S.P.E.A.Kプロジェクト《18人のALTによる中3を対象とした英会話の力の評価・向上》
- ⑪修学旅行における英会話学習
- ⑫小学校低学年に対する「英語」モデルカリキュラムとモジュール学習の実施
- ⑬教育支援員の配置《子どもへのきめ細かな支援を充実》
- ⑭そろばん学習・道徳・食育学習・プログラミング教育・国際理解教育・ウェルカム赤ちゃんの実施
- ⑮外国人児童生徒支援の拡充
- ⑯東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた国際理解の促進



ながふじ学府小中一体校

### (2) 図書館と文化財

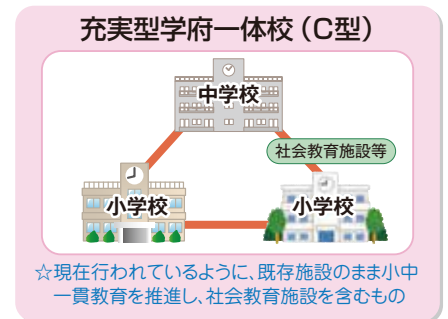
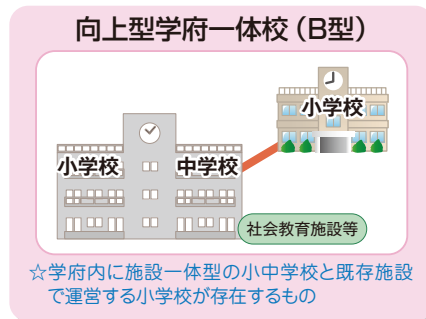
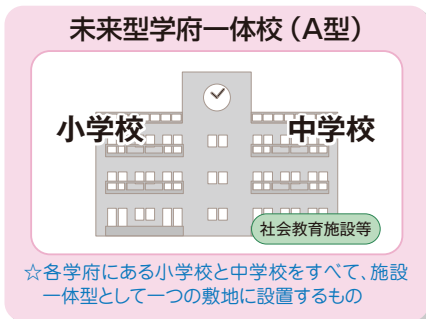
- ①電子書籍サービスの充実
- ②読み聞かせ等のボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成
- ③地域に根差した各図書館の特色づくり
- ④文化財保存活用地域計画の作成
- ⑤遠江国分寺跡(国の特別史跡)の整備  
《木装基壇や燈籠の復元、四阿等の建設に向けての設計及び環境整備》
- ⑥開発事業(店舗建設、こども園、道路改良事業等)に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ⑦旧見付学校附磐田文庫(国の史跡)保存活用計画策定に向けての調査
- ⑧歴史文書館企画展等のイベントの開催
- ⑨古文書ボランティアによる古文書解読作業



1人1台端末による学習

## 3. これからの課題

### ①学府一体校の推進



- ②幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
- ③図書館資料の充実と中高生・高齢者の利用の促進
- ④文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
- ⑤学校給食施設のあり方の検討
- ⑥いじめ・不登校・児童虐待など、「こころの健康観察調査」等を利用した積極的対応
- ⑦新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた教育施策の推進

⇒ 子ども一人一人の「いのち」を大切にしていきます。

編集／磐田市教育委員会事務局  
教育部教育総務課 総務グループ  
〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1  
TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517  
kyoikusomu@city.iwata.lg.jp  
発行／令和3年4月